

ホップ・ステップ・ジャンプ！



新学年のスタートです！改めて…家庭学習 Q&A

Q1 家庭学習をがんばると、どんないいことがあるの？

学校で学習した内容が自分のものとして、しっかりと身に付き、自信がわきます。
自信がわくと、学習が楽しくなり、自分から学ぼうとする意欲が育ちます。
脳が活性化するだけでなく、集中力・根気・がまん強さがアップします。
家族が学習をもとに触れ合う、よい機会になります。



学校で学習した内容が自分のものとして、しっかりと身に付き、自信がわきます。

Q2 どのくらい家庭学習をさせればいいの？

小学生の家庭学習として集中すると効果があるのは、**(10分～15分)×学年の数字**とされています。金子小の子どもたちには、以下の表の時間ががんばってもらいたいと思っています。

学年	1・2年	3・4年	5・6年
目標時間	30分	45分	60分

Q3 家庭学習って宿題のこと？

家庭学習は、読んで字のごとく家庭でする学習のことです。原則は**宿題**と**自主学習**（自分で決める勉強）の両方をさします。しかし、お子さんによっては、

- ① **宿題**だけで目標時間をこえてしまう子
- ② **宿題**と**塾等の宿題**で目標時間になる子
- ③ **宿題**と**塾等の宿題**と**自主学習**をして目標時間になる子



など、様々だと思います。自主学習がよいからといって、無理をさせすぎるのは禁物です。大事なのは、**学習に対してプラスイメージをもつことができる量や内容になっているか**ということです。一人一人の顔がちがうように必要な家庭学習の量や内容というのは、本来、違っていきなくてはならないものです。**目標時間を目安にして、宿題を済ませても時間があるお子さんには自主学習を工夫させてみてください。**忙しくて時間がないお子さんは、時間が空いた日のみ自主学習に挑戦するといったやり方もあると思います。宿題に時間がかかるお子さんは、自主学習はせずに宿題を決めた時間内に終わらせることから始めるといったやり方もあると思います。**お子さんに合った効果的な学習の仕方や自主学習の内容を一緒に考えていただけると幸いです。**



Q4 自主学習って何をすればいいの？

自主学習の内容のヒントは「家庭学習の手引き」に、くわしく載せています。参考にしてください。大事なことは子ども自身が何をするか最終決定をすることです。(保護者は一緒に考えるスタンスで)「今日の授業で分かりにくかった文章問題を復習しよう」等、自分なりのめあてをもって学習に臨むことができるようになれば、たいしたものです。

Q5 家庭学習はいつ・どこですればいいの？

原則は、家に帰ってからすぐにするのがいいです。

しかし、家に帰ってからの生活スケジュールは家庭によってちがいます。子どもによっては学校から帰ってすぐに、自分の部屋でする方がはかどる子もいれば、家の人に見てもらえる時間に、リビングでする方がはかどる子もいます。**大切なのは、その子の性格や生活環境にあった時間・場所で学習することです。まずは、お子さんと話し合っ、いつするか、どこでするかを決めてみてください。**それで、しばらくやってみて、うまくいかないようなら、決め直せばいいのです。試行錯誤はあるかもしれませんが、自分に合ったやり方を見付けられたら、お子さんも保護者の方も楽になるはずですよ。

Q6 親はどのように子どもにかかわったらいいの？ かかわり方のポイントってあるの？

低学年

一緒にして、やる気をおこす

中学年

認めて ほめて 自信をつける

高学年

見守って 伸ばす

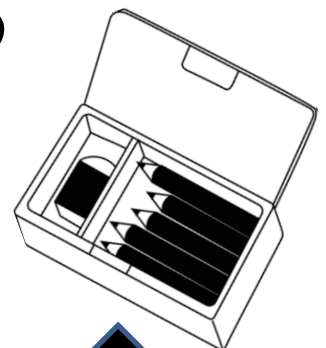
その子に合った距離感を見極めていきたいものです。なお下記の2点は更に大事です。

- ① **お子さんのちょっとした努力や成長に気付いて、どんどんそれを本人に伝えて、認めましょう。**
- ② 体の成長・心の成長・学力向上の基盤になるものは「**早寝・早起き・朝ごはん**」「**あいさつ**」「**準備物をそろえる**」といった**基本的な生活習慣**です。私たち大人が、よい手本を見せましょう。

ふでばこに入れておくもの(学習用具の準備について)

学習効率を上げるには、学習用具が使いやすいことが一番です。金子小の子どもたちの「ふでばこ」には、下記のものを入れておいてください。

削った鉛筆(5~6本) 消しゴム 赤えんぴつ(ペン)
(学年に応じて) ものさし 青えんぴつ(ペン)



- これ以上入れる場合は、すぐに取り出せる範囲の本数・量にしばってください。
- 入学時に使っている形のふでばこは大変使いやすいです。できるだけ、**この形のもの**を使うことをおすすめいたします。